

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

黙祷 箴言 31:28-29 …… 御言葉に耳を傾け心を主に向けましょう。
*賛美 …… 305番 春風そよふごと
*交読文 …… 47番
*使徒信条 …… 会衆一同
*頌栄 …… 171番 はとのごと降る
礼拝のための祈り …… 成田エクレシア:朴執事 天声:小林伝道師
賛美 …… 304番 ひろき母の愛
メッセージ …… 子のためにいつも重荷を負っている母(箴言 31:1-9)
御言葉を適用する祈り .. 会衆一同
賛美 …… 234番 世にもとうとく清きふみあり
幸せと成功の宣言文 …… 会衆一同
献金感謝の祈り …… パスター
報告 ……
*主の祈り …… 会衆一同
*祝祷 …… パスター

天声教会は

- ・御言葉なる主の御声を忠実に聞く教会。(ヨハネ 1:1、マタイ 3:17、17:5)
- ・主の御言葉を心で信じて義に至る教会。(ローマ 10:10)
- ・全能なる主の御言葉を口で告白し、救いに至る教会。(ローマ 10:10)
- ・受けた恵みを愛と忍耐をもって実践する教会。(第二テサロニケ 3:5)

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

子たる者よ。主にあって両親に従いなさい。これは正しいことである。「あなたの父と母とを敬え」。これが第一の戒めであって、次の約束がそれについている、「そうすれば、あなたは幸福になり、地上でながく生きながらえるであろう」。(エペソ 6:1-3)

これは____が子や孫と共に、____の生きながらえる日の間、つねに____の神、主を恐れて、わたしが命じるもろもろの定めと、命令とを守らせるため、また____が長く命を保つことのできるためである。それゆえ____よ、聞いて、それを守り行え。そうすれば、____はさいわいを得、____の先祖の神、主が____に言われたように、乳と蜜の流れる国で、____の数は大いに増すであろう。イスラエルよ聞け。われわれの神、主は唯一の主である。____は心をつくし、精神をつくし、力をつくして、____の神、主を愛さなければならぬ。きょう、わたしが____に命じるこれらの言葉を____の心に留め、努めてこれを____の子らに教え、____が家に座している時も、道を歩く時も、寝る時も、起きる時も、これについて語らなければならない。(申命記 6:2-7)

□ 母の日おめでとうございます！日々たゆまず愛を注いで労を負って来られた母たちに感謝します□ □

メッセージ概要

本日・母の日は、レムエルという王が母から受けた言葉から養いを得たい。箴言 31:1 を原文直訳すると『ことばたち、王、レムエル(神のために、神に属した者)、マサ(預言、重荷)、従って、彼の母の、戒め(ヤアサル:懲らしめ、指導)』。多くの訳は「マサ」を地域名などのように訳しているが、元々は「預言、託宣、重荷」という意味である。つまりこの節は、神のために重荷を負う(神に属した)王が、母から戒められた言葉、とも言える。マサ、すなわち預言や託宣は、「重荷」である。神様から預言が託された預言者は、伝えるべき相手に伝えるまでは、その内容が「重荷」となり、伝えないままにいるなら骨の中で燃えさかる炎となって耐えられなくなる(エレミヤ 20:9)。しかし、伝えてしまった後は、今度は受けた側が重荷を負う番となり、言われた通り実行するなら解放され、実行しないままにいるなら、どんどん重い炎となっていく。

母は、重荷を負っている存在である。子を生んでしまうまでのお腹の重み、産んで後にも「子育て」という重荷、そして子が成熟した後も、なお子供という重荷は生涯降ろせない。それは、エデンの失敗の時、女に課せられた重荷である(創世記 3 章)。なぜエデンのあの時、生みの苦しみが大いに増してしまったのか。それは、人が神の御言葉に従わず、妻の声に従ったために、地は呪われてしまったからである。自分のお腹に宿された子を、呪いと苦しみに満ちたこの世に送り出さなければならない…。それで母は生涯、子のために愛のうめきをし、重荷を負うのだ。レムエルの母が、子进行「うめき」が、2 節に込められている。(直訳)『何を？わが子よ。そして何を？わが胎からの子よ。そして何を？わが誓願の子よ。』レムエルの母、すなわち「神に属する母」は、悩む。子がこの世で祝福の人生を送るには、何を伝えたらいいだろう？

彼女は、2つの「してはならない」を伝える。最初の「してはならない」は、『力(ハイル:支配権、権威、裁量)を与えるな。女たちに。またあなたの道を王を抹消するものに(与えるな)』(3 節直訳) 支配権を与えてはならない相手は「女たち」、複数形であるからには、「妻」という単数形の女、ではない。妻以外の女たちに、力を浪費してはならない、という事である。妻は、喜ばせるべき相手であり(申命記 24:5)、共に楽しむべき相手(箴言 5:15-19)である。妻には、彼女の手でかせいだ実を与え、彼女のした事を、町囲みのうちでほめたたえるべきである(31:31)。しかしもし、「単数形」であるべき妻を、夫が複数形にしてしまうなら、それは、王達を抹消するものに早変わりしてしまう。ソロモンは実際そうだった。

二つ目の「してはならない」は「酒」であり、しかも、「王のすることではない」と、反復強調している。「強い酒(シェカール)」は元々、うきうきさせるもの、夢中にさせ、中毒性をもたらすものである。王たる者は「シェカールはどこにある？」と求めるべき者ではない。母としては、子が「ほしい」と求めるものはあげたい、と思うかもしれないが、あげるべきもの・あげてはならぬものを見分ける思慮が必要である。特に中毒性をもたらすものは、むやみに与えてはならない。むしろ、御言葉の戒めと宣言こそ、与えるべきである。「酒を飲んで勅令(ハカク)を忘れ、すべて悩む者のさばきを曲げるといけないから」。ハカクは、刻まれた言葉、布告されたもの、そこから「律法」を意味する言葉となった。この、呪いに満ちた世において、王として正しく統治し、人生を無事に全うする鍵は、ハカク、すなわち御言葉である。王たる者、一家の主たる者は、神の御言葉によって正しく統治し、悩み苦しみにある子たち・仲間たちを正しくさばくべきなのだ。

8 節は「あなたは全て口の利けない人、すなわち滅びが定められている者達のために口を開け」と訳せる。世の人はほとんど、唯一の有意義な言葉である「神の言葉」については、「口が利けず、口が開かない」ので、彼らは滅びへと向かっている。キリストにあって王とされた私達は、彼らの代わりに、そして彼らのために、積極的に御言葉の口を開いて、悪がはびこらないよう、正しくさばきを行い、また行くべき道が分からず滅びへと向かっている人を救いなさい、と命じられている。その正しいさばきをするための知恵は、ただ、真実なる御言葉に養われる事によって、である。この時代、神に属する重荷を負った王として、御言葉で研ぎ澄まされた口から、御言葉の勅令を出し、御言葉によって家庭を、社会を統治し、栄光の次世代を、立派な王へと育て上げていく私達でありますように！イエス様のお名前によって祝福します！

お祈りしていただきたい事がありましたら、以下にお書きの上、教会へお持ち下さい。

第18巻20号

2023年5月14日

横浜天声キリスト教会

礼拝 週報



集会案内

主日礼拝(日曜)

日本語礼拝 11:30 開始
交わり 13~14 時
English Service 14 時半開始

日々の集会

月~金 早天祈祷会 5:00~
火・木・金 賛美と祈りの集会 13:00~
火~木 夜の祈祷会 19:00~

水曜礼拝

1 部 13:00~
2 部 19:00~

金曜祈祷会

19:00~

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → youtube.com/c/横浜天声キリスト教会

アクセス



横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅

6 番 B 出口を出てまっすぐ徒歩 5 分

JR・関内駅より徒歩 10 分

京急線・日ノ出町駅より徒歩 10 分

関内駅から伸びる大通公園沿い、

伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1F がファミリーマートになっております。



聖書メッセージをメールで
お届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！

〒231-0058

パスター：林和也 川合ゆきえ

神奈川県横浜市中区弥生町 2-17 ストックタワー大通公園 I-201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voice.of.christ.yokohama/>

email: ephes_03-tensei@yahoo.co.jp

